

## 編 集 後 記

○ 神戸は久方振りに2月2日は雪が降りつもる朝となりました（2月25日にも雪が舞いましたが—）。

だが今年の冬は全般的には暖冬だったようです。

皆様方にはお変りございませんか。

雪の中での生活は大変だと思います。冬になると零下30度の中で働く、働く（ラポート、ラポート）とおい立てられたカザック共和国での収容所生活が思い浮かびます。本年はこのカザック共和国（ウスチカメノゴルスク）への直行の航空路が春には開設される予定だからそれを前提として墓参に行かないかとのさそいを受けています。凍土に穴を掘り裸に毛布をくるんだまま埋葬した戦友の姿が浮かんできます。

○ 今号は多くの投稿を頂きまして有難う御座いました。都合で一部次号に廻させて頂きました。御投稿頂いた方には真に申し訳御座いません。お陰さまで充実した内容になったと思いますがいかがでしょうか？

これにこりず気楽に御投稿下さい。

○ 最後に私事にわたり恐縮ですが編集子が採集し集めました兵庫県産甲虫類標本を主体に世界のコガネムシ標本その他（半翅目標本もふくむ）、5,643種、64,069点、標本箱405（いずれも概数で実際にはそれ以上になっています。一応1992年前半採集したものまで）、1993年2月に3回にわけて県立 人と自然の博物館（三田市）で保管して頂くように納入させて頂きました。

(T)